

大阪保健福祉専門学校…小論文課題文例

◆次の文章は「やさしさの精神病理」(大平健著・岩波新書)から引用した「やさしさ」に関するものです。文章を読んで、注意事項に従ってあなたの考えを論述しなさい。(注…文章は一部改変してあります。)

【注意事項】

- 一、文字数は八〇〇字以内とし、時間は六十分とする。
- 二、原稿用紙の適切な使い方に基づくこと。

今や、「やさしさ」は私たちの生活の隅々にまで行きわたっています。もしかすると、「やさしさ」は現代の「時代の気分」なのかもしれません。どうして「やさしさ」がこれほどまでに拡がり、尊重されるようになったのでしょうか。いや、その前に、かくもさまざまな場面で語られる「やさしさ」とはいったい、何なのでしょうか？

私がこうした疑問を持つようになったのは、近年、私の病院の面接室の中で「行きすぎたやさしさ」とでも呼びうるようなことを経験することが増えてきたからです。例を挙げてみましょう。

ひとりの女子高生は「私たちのやさしさとはねえ」と前置きして、次のように話しました。

「この間、学校へ行く時、ふだんなら座れないのに、突然、前の席が空いて座れちゃったのね。そしたら次の駅ぐらいの時、オジイさんが私の前に立ってえ、私、立ってあげようかなって思ってたけど、最近の年寄りって元気な人、多いじゃないですか。ウチのおばあちゃんなんか私たち孫以外の人が「オバアさん」なんて言ったら、もうプンプンだからア、このオジイさんも年寄り扱いしたら気を悪くするかなあ、なんて考えてたらア、立つのやめた方がいいか、なんて考えてエ、寝たふりをしちゃったの」

私は精神科医ですから、患者からどんな話を聞いても驚かないつもりでしたが、正直言って、この高校生の言葉には虚をつかれる思いがしました。実は私自身、電車で老人に席を譲ろうとして「いや結構!」と冷たく拒絶されたことがあったからです。私は難しい世の中になったものだからにしか考えなかったのですが、この少女によれば、席を譲らないのも「やさしさ」だと言うのです。相手を年寄り扱いにしないことになるからです。それでは、席を譲ろうとした私はやさしくなかったことになるのでしょうか。少女の返事は「そりやそうよ。相手が「席を空けてくれ」って言ったら空けた方がいいんだから」理屈は分かりましたが、もちろん私は釈然としません。席を譲らなかつた自分を正当化しようとしているだけのような気がするのです。少女が結局「寝たふりをしちゃった」のがその証拠ではないでしょうか？

少女はこうも言いました。「ちがう、ちがいます。寝たふりをしたのはねえ、私たちのやさしさの分かんない大人とかが、『この子、席も立たないで』みたいな目つきでジロジロみるからなのよ」

電車で老人に席を譲らない「やさしさ」の事例から、「やさしさ」とは何なのかと考え込んでしまいました。

皆さんはこの文章を読んで、「やさしさ」についてどのように考えますか。